

伊那市議会記念誌の発刊にあたって

～合併後の伊那市議会の軌跡(あゆみ)～

伊那市議会議長 黒河内 浩



令和の新しい時代がスタートし、また伊那市においては平成18年の合併から13年が経過しました。この時に伊那市議会がこれまで歩んできた歴史を振り返り、その軌跡を発刊できることを大変うれしく思います。

伊那市議会の軌跡(あゆみ)は、「議会改革の歴史」であるといっても過言ではありません。では、議会改革とは何でしょうか。

1つには、議会を『市民に身近な存在』とすることです。

議員は市民の代表者であり、議会はその代表者で構成されています。その意味で我々議会は常に市民を意識して活動、行動をとらねばなりません。そのため、議会では市民との意見交換会の実施や、議会・委員会の中継、また議会だより等を通じて市民の皆様への情報発信に努めています。

2つには、『チーム議会』を構築していくことです。

以前は議員個人の活動に重きが置かれ、尊重されてきました。もちろん議員個人がそれぞれの考えに基づいて行動することは基本ではあります。しかし、それだけでは議会全体としての力を発揮することはできません。議会が一丸となって行動することにより大きな力を発揮することが可能になるのです。そのためには、全議員による「議員間討議」を重視し、その結果を「政策提言」に結びつけてこそ議会の力を発揮し、存在感を市民に示すことができます。

伊那市議会の軌跡(あゆみ)は、『チーム議会』が『市民の身近な存在』として歩み続けた議会改革の歴史をまとめ、編集したものです。今回の発刊を機に、今後も議会の必要性、重要性を市民の皆様へ訴え、議会の存在感を今まで以上に示していきたいと思えます。

伊那市の発展、そして市民の皆様のご多幸を祈念して記念誌発刊にあたっての挨拶とします。